



KVASER MEMORATOR LIGHT HS V2

EAN: 01058-1

Kvaser Memorator Light HS v2は、あらゆるCANベースシステムのトラブルシューティング用に設計されており、ソフトウェアによる設定なしで、シリアルデータを記録するための使いやすいツールです。CANバスのビットレートを決定するオートボー機能により、Kvaser Memorator Lightは設定なしであらゆる高速CANバスに接続することができます。

すべてのCANバストラフィックは循環バッファに記録され、バッファがいっぱいになると最も古いデータが上書きされます。別に用意された循環バッファでは、エラーフレームとその近くで発生するメッセージトラフィックを記録します。

保証

2年間保証

主な特長

- 高速CANシングルチャネル (ISO 11898-2準拠)
- 11ビット (CAN2.0A) および29ビット (CAN2.0Bアクティブ) の識別子をサポート
- 50 Kbit/秒 ~ 1 Mbit/秒のビットレートに対応
- CANバスのビットレートを決定するオートボー機能
- 常時サイレントモードによりバスのトラフィックを妨害することなく安全に記録
- 本体内蔵1GBストレージ
- 2つのFIFOバッファ: 1つはバス上のすべてのメッセージを記録し、もう1つのバッファはエラーフレームの前後にある約1000のメッセージを記録します。
- バッテリーバックアップ付きのリアルタイムクロック (カレンダー) を内蔵
- LEDでデバイス状態表示
- 注意: Kvaser Memorator Light HS v2は、インターフェースとしては動作しません。(CANバスへのリアルタイムアクセスを提供しません) スタンドアロンのデータロガーとCANバスインターフェースの両方の機能を持つデバイスには、Kvaser Memorator 2xHS v2、Kvaser Memorator Pro 2xHS v2、Kvaser Memorator Pro 5xHSをお勧めします。

仕様

オートボー機能	あり
チャンネル数	1
CAN FD	なし
素材	PC-ABS
コネクタ	DSUB 9
消費電流	最大3W
サイズ	46 x 127 x 22 mm
エラーフレーム検出	あり
ガルバニック絶縁	なし
温度範囲	-40 ~ +85 °C
インターフェース	USB
サイレントモード	あり
タイムスタンプ分解能 (μs)	2 μs
t プログラム	なし
重量	150g

ソフトウェア

ドキュメント、Kvaser CANlib SDK、およびドライバは、www.kvaser.com/downloads から無料でダウンロードできます。

Kvaser CANlib SDKは、Kvaser CANインターフェース用のソフトウェアを開発するために必要なものをすべて含む無料のリソースです。C、C++、C#、Delphi、Visual Basic、Python、tプログラミング言語で書かれたドキュメントと多くのプログラムサンプルが含まれています。

Kvaser CANハードウェアは、同じ共通のソフトウェアAPIを中心に構築されています。あるデバイスタイプを使って開発されたアプリケーションは、他のデバイスタイプでも変更なく動作します。

機器をUSBポート側でKvaser Memorator Config ToolがインストールされたPCに接続すると、記録されたデータに簡単にアクセスできます。このツールは、一般的な分析ソフトウェアで使用される複数のフォーマットをサポートしています。さらに、この抽出ソフトウェアでは、デバイスのメモリをクリアおよび再初期化することができます。